

共同獣医学部学術セミナー

演 題： 肺動脈弁性狭窄症の術後再狭窄の病態とその予防
講 師： 砂原 央 先生
(あおき動物病院、若草動物病院 非常勤獣医師)

開催日時： 6月7日（木）、17：00～18：00

場 所： 獣医学研究科棟4階大講義室

講演要旨：

肺動脈弁性狭窄症は犬の先天性心疾患のなかで、多く認められる疾患の1つです。重度では1年以内に約50%が死亡することが知られているため、カテーテルを用いたバルーン弁口拡大術(BV)が一般的に行われています。BVを行った中には、術後再狭窄が約10～30%で認められています。再狭窄症は予後不良であり、有効な治療法もありません。しかしながら再狭窄を起こす原因は不明であり、予防方法も検討されていませんでした。本講ではBV後の有用性と合併症(特に再狭窄)の臨床的および病理学的原因、その予防法について研究成果をふまえて紹介いたします。

問合せ先： 獣医外科 谷 健二 (内線5908)